

日のハイ通信

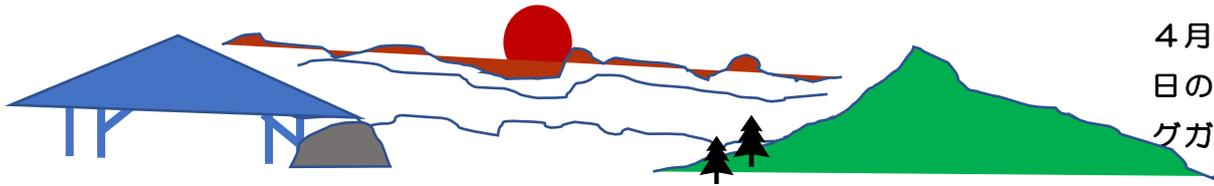
日の出山 第10号

令和7(2025)年

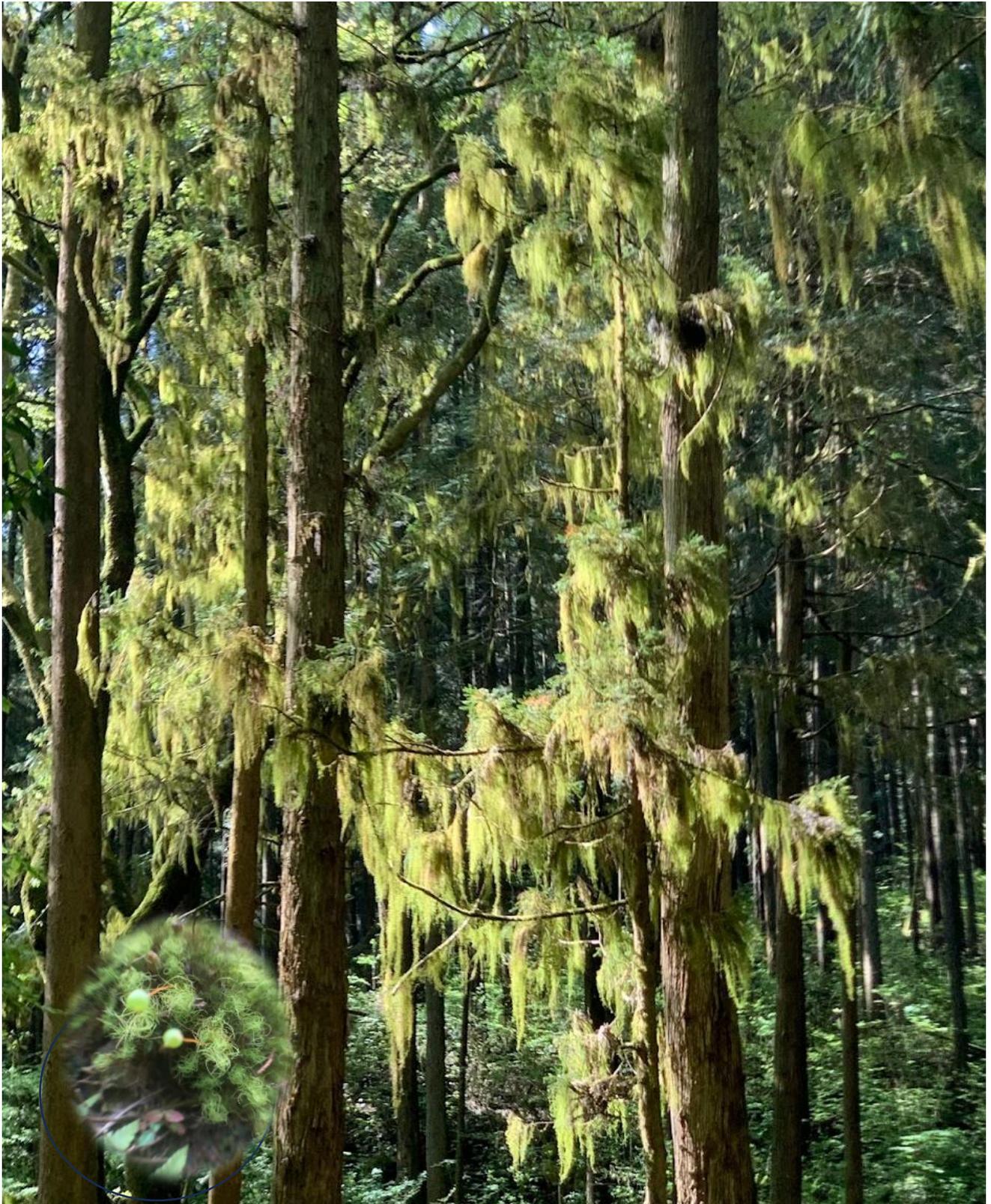
4月10日発行

日の出町ハイキン

グガイドの会



さと山は光と風のハ～モニ



馬引沢のキヨスミイトゴケ (23.4.17)・タマゴケ

鉄五郎新道から御岳山をご案内して

ガイド 原島秀敏

JR 古里駅から、古里付き橋方面へ。畑のマネキン人形のオブジェを右に見て、坂を下って湧き水の冷たさを感じ、清見の滝を過ぎて、観光トイレ前で、早めの小休止。多摩川を渡って、寸庭へ。道の両側の花や新緑に目を楽しませながら、登山口へ。鉄五郎さんが、どうやって、この山道をつくりあげたのかも、気にとめながら高度をあげていきました。ゆっくり目のペースで、まずは金毘羅神社を目指します。かなり上がってきたところ、右手奥の、大きな岩の上に金毘羅神社です。北側の展望では、青梅線が確認できました。近くには、ロッククライミングで有名な越沢バットレス。ロープにつかまりながら、スリル満点で、その高さの一部を、上からのぞき込みました。新道はさらにジグザグを重ねて、高度を上げていきます。わきの小さなイワウチワの発見で、疲れもとれる思わぬ小休止になりました。目も慣れてくると、さらに、多くの花やつぼみが見つかりました。歓声が聞こえます。



(23.3.28)

奥多摩

広沢山を越えて、傾斜がすこし楽になり、間もなく、大塚山です。広い頂上付近で、日のあふれるベンチでゆっくりとお弁当。ここを過ぎると、右手西側が開け、御前山や、氷川の奥の山々など、この時期ならではの展望が。さらに進んで、カタクリの群生を見ながら、ピジターセンターへ。さっきの大塚山が右手に、さらに高水三山、ミツドクまで連なる山々を展望できる生活道を上げて、御岳神社へ。下りは、階段の参道。ケーブル、バスの連絡もよく、3時前には、JR 御嶽駅に到着。下りは、登りの疲れをいやすような時間でした。ご参加ありがとうございました。

山との出会い ガイド 石川剛

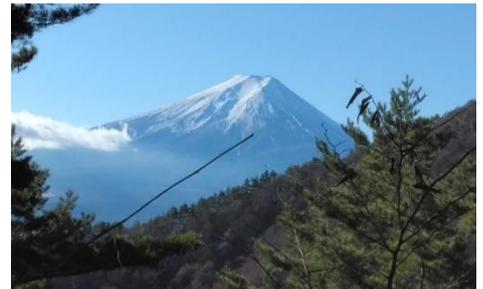
金比羅山の麓、五日市小学校が私の母校。小学生の頃、小さな竹籠を背負い金比羅山へ、籠を降ろして、戦争ごっこや秘密基地作り、遊びに飽きたら、杉っぱで籠を満たし背負って帰った。3人の従兄弟に混じって金毘羅尾根から御岳山へも行った。それから五日市を出て6年、登山が趣味の先輩が三ツ峠山へ連れて行くと言う。集まったのは男6名、女4名。母の白滝付近で飯盒炊爨をする事になり、鍋や飯盒、食料は先輩の二尺四寸のキスリングに詰めて交代で背負うとの事。ところが、ひよろひよろで青白い顔の私に「お前は無理だから背負わなくても良い」と言う。男6人は早い

母の白滝
(25.1.5)



時間に先輩宅に集まり、弾けもしないギ

三ツ峠から富士山
(25.1.5)



ター、やったこともない麻雀などで大騒ぎして、大月駅発富士急行線の終電に間に合うように出掛けた。大月駅で女性4名も合流。三ツ峠駅に降り立ち最初は同級生達が重いザックを背負い歩き出した。傾斜が増した達磨石辺りで先輩が背負う。ところが、二人の先輩は出発前にお酒を呑んだようで、八十八大師を過ぎる頃には背負えなくなってしまった。私にも背負わしてくれと、両肩を通し手伝って貰って立ち上がる。最初はよろよろしたが何とか歩き通した。この時、山登りでもやってみようかと思ったのが始まりで山登りにのめり込む事になったのです。

奥多摩に住み始めて30年以上となるがクマと出会ったことがない。クマハギは本当に今の瞬間に歯で剥ぎ取ったのではと思われる生々しい樹皮の様子を何度も目にしてきた。ヒノキとスギを比較した場合は圧倒的にスギの大木樹皮が狙われていてヒノキの例は少ない。どんな味がするかと思って舐めたこともあるが少しも美味しくなくお勧めはできない。

4月9日長野県飯山市の住宅街で家屋に入って来たクマが大人3人を襲い二人が重傷を負った。青梅市でも数年前ツキノワグマが冷凍庫の蓋を開けた様子がTVで放送されたことがある。過去において里山は人と動物の緩衝地帯として手入れがなされていたが、山での仕事(林業・炭焼等)が無くなり山間地域を離れた人々は都会に住居を移し里山が大きく変化した。

先日4月8日のNHK第一ラジオで栃木県の山中でシカが罠にかかった数十分の間にクマが現れ、シカに噛みつき食べ始めた映像を確認との放送。人がシカを獲ることでクマにも影響が出ているのではとの解説もあった。



ノラボウを食べるサル

気候変動?! 2014.2

2025・1

地球温暖化がいわれて久しいが、人間の生活の変化が地球に強い影響を与えていることは間違いない。日本をみても、人々は東京等太平洋ベルト地帯の大都会に集中し、地方は過疎化の歯止めが効かない。

山に入ると時々、動物や鳥に出くわす。彼らが生きている時間が人間の生活と無関係な太古を引き継いでいることにホッとする瞬間がある。かつて豊かな自然の森で生活してきた動物たちや人間にとっても現在の地球は生き苦しい。レイチェル・カーソンの「人間だけの世界ではない。動物も植物も一緒に住んでいる」との言葉を改めて思い起こしたい。



当会では ホームページ を開設しており、ハイキングの イベント情報 や 日々の活動内容 などをお知らせしています。パソコンやスマートフォンからいつでもご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

ホームページはこちら



または「日の出町ハイキングガイドの会」で検索

「日の出友の会」会員募集中!

一緒にハイキングを楽しみ、自然の魅力を満喫する「日の出友の会」の会員を募集しています! 「日の出友の会」入会申込書などはホームページからダウンロードできます。

四季折々の風景を楽しみながら、無理のないペースで「日の出町ハイキングガイドの会」のガイドと歩くことができますので、どなたでも安心してご参加いただけます。興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

メールアドレス登録のお願い

定期的に発行している「日のハイ通信」は、日の出友の会の会員の皆さまにメールまたは郵送でお届けしています。しかし、郵送には費用がかかるため、できるだけメールでの受け取りにご協力いただくと助かります。

・メールの登録方法は簡単!

mk.3193@outlook.jp (石川 剛 宛)

まで、氏名を記入してメールを送ってください。
※入会申し込み時にメールアドレスを記載していなかった方に限ります。

『友の会』 関連行事の紹介

ここでは、令和7年5月から8月にかけて『日の出町ハイキングガイドの会』が主催するハイキングと登山について紹介致します。

ハイキングは概ね半日程度の里山歩きから始め月に一回平日に予定。また、登山についてはハイキングよりも標高差や距離がやや長めで休日(土曜日を含む)に設定してあります。(歩程時間：休憩を除くおおよその目安です。)どちらも『日の出友の会』会員の皆様から、先着順で受け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。令和7年9月以降の計画については『日のハイ通信』11号(令和7年7月発行)に掲載予定です。

I. ハイキング(事前申し込み制)

◎ 5/8(木) 新緑の小下沢林道を歩く

JR 高尾駅北口前 7:30 集合

コース 高尾駅＝陣馬高原下…底沢峠…堂所山…関場峠…小下沢林道…梅の里入口…高尾駅 (歩程約 5 時間)

◎ 6/5(木) 日和田山から物見山

西武線高麗駅前 8:00 集合

コース 高麗駅…日和田山…物見山…ユガテ…東吾野駅 (歩程約 4.5 時間)

◎ 7/3 (木) 馬頭刈山から光明山

JR 武蔵五日市駅前 8:30 集合

コース 五日市駅＝和田向…馬頭刈山…光明山…長岳…瀬音の湯＝五日市駅

(歩程約 4 時間)

◎ 8/14(木) レンゲショウマ観賞

JR 御嶽駅前 8:15 集合

コース 御嶽駅＝ケーブル下…滝本⇄御岳山…富士峰園地…御岳神社…日の出山…つるつる温泉＝武蔵五日市駅 (歩程約 4 時間)

II. 登山(事前申し込み制)

◎ 5/18(日) 芦ヶ久保～二子山往復

西武線芦ヶ久保駅前 8:00 集合

コース 芦ヶ久保駅…水場…雌岳…雄岳…富士浅間神社…芦ヶ久保駅 (歩程約 5 時間)

◎ 6/14(土) ※ 日本百名山大菩薩嶺

JR 甲斐大和駅前 7:45 集合

コース 甲斐大和駅＝上日川峠…大菩薩峠…雷岩…大菩薩嶺…唐松尾根…上日川峠＝甲斐大和駅 (歩程約 5 時間)

◎ 7/26(土) ※ 三ツ峠から富士の絶景

富士急行線河口湖駅前 9:00 集合

コース 河口湖駅＝三ツ峠登山口…開運山…木無山…霜山…富士見台…河口湖駅 (歩程約 6 時間)

◎ 8/23(土) 大岳山麓滝巡り

JR 武蔵五日市駅前 8:10 集合

コース 五日市駅＝大岳鍾乳洞入口…大滝…富士見台…つづら岩…天狗滝…千足＝五日市駅 (歩程約 6 時間)

III. 参加費の一部変更について

これ迄友の会関連行事への参加費について一回当たり¥1,000.-でお願いしておりましたが、※印の企画については、遠隔地における催行につき、¥2,000.-とさせて戴きます。諸般の事情ご賢察の上ご了承賜り度、お願い申し上げます。

IV. 申し込み後のキャンセルについて

申し込み締め切り後、催行予定の概ね一週間前迄には、申込者に参加の可否についてお知らせ致します。申し込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、参加申込者に連絡します。

V. 『日のハイ通信』について

◎ バックナンバー

右の二次元コードからこの10号をはじめ、今まで発行済みの『日のハイ通信』をカラー版で閲覧可能です。



◎ 日のハイ通信に関するご意見等は下記へ

Email: mk.3193@outlook.jp

日の出町ハイキングガイドの会会長石川剛宛